

秋田市食品ロス削減推進計画の策定について

1 経緯

本市における食品ロス削減の取組については、これまでも生ごみ減量促進事業などを中心として実施してきたところであるが、食品ロスの削減の推進に関する法律の成立を受け、令和3年3月の一般廃棄物処理基本計画の見直しの柱の一つとして、食品ロス施策を積極的に展開する旨、位置付けたところである。

このたび令和4年3月に、「秋田県食品ロス削減推進計画」が策定されたことを踏まえ、これまでの取組を改めて整理し、本市の食品ロス削減をさらに推進するため、本計画を策定しようとするものである。

2 秋田市食品ロス削減推進計画の主な内容

(1) 計画の趣旨・期間（P1、P2）

計画期間は、終期を国や県の目標年度に合わせ、令和5年（2023）度から令和12年（2030）度までとする。

(2) 現状と課題（P10～13、P19）

本市の食品ロス発生量は、令和元年度実績で事業系3,921t、家庭系8,971tとなっている。

家庭系の食品ロス発生量は、一人1日当たりで約80g（令和元年度実績）であり、削減余地があることから、今後も食品ロス削減を実践する取組を進めていく必要がある。また、事業系の食品ロスは、今後も関係者が意識をもって取り組めるよう施策を推進し、削減を進めていく必要がある。

(3) 基本理念と基本方針（P20）

「人にも 地球にも やさしい あきた ～全員参加で減らそう食品ロス～」を基本理念とし、基本理念の実現に向けた基本方針として①食品ロス発生抑制のための普及啓発②市民・事業者との協働による食品ロス削減の推進③食品廃棄物の資源循環の推進を掲げている。

(4) 目標（P23、P24）

ア 家庭系食品ロス 一人1日当たり60g（令和12年度まで）

イ 事業系食品ロス 3,200t（令和12年度まで）

(5) 推進施策（P25～28）

基本方針に基づき、食品ロス削減の啓発・情報発信、食品関連事業者における取組の推進、未利用食品等の有効活用等をテーマに、ごみの減量に限らず、全庁的に食品ロス削減に取り組もうとするものである。

(6) 進捗管理（P29）

目標や管理指標に関する進捗管理を行い、状況について毎年度公表するほか、一般廃棄物処理基本計画の進捗管理にあわせ、廃棄物減量等推進審議会などから、意見をうかがい、その内容を公表する。

3 スケジュール（案）

令和4年8月	庁内に意見照会
9月	素案とりまとめ
10月	廃棄物減量等推進審議会（意見聴取）
12月	市議会建設委員会（素案） パブリックコメント、市民100人会
令和5年3月	市議会建設委員会（原案）
3月末	策定・公表